

令和4年度

札幌市清田老人福祉センター

事業計画

札幌市清田老人福祉センター指定管理者

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会

令和4年度札幌市清田老人福祉センター事業計画

I 基本方針

- 1 職員の専門性を活かした包括的な支援・サービスの提供を行うとともに誰もが平等にサービスを受けることが出来るよう支援する。
- 2 老人福祉センターを拠点としたボランティア活動の充実と高齢者の社会参加する機会を提供する。
- 3 利用対象者のみならず、地域の方々とも交流が出来るような場を提供する。
- 4 各区社会福祉協議会等関連機関との更なる連携強化を図る。
- 5 老人福祉センター周辺の地域性による臨機応変な取組を支援する。
- 6 講座・サークル活動の取組みを支援する。
- 7 更なる経費縮減を図る。

II 計画目標値

- 1 全体利用者数
63,000人／年（前年度目標値：63,000人）
- 2 老人福祉センター利用者アンケート
 - ・ 回答数 280人以上
 - ・ 総合満足度 70%以上
 - ・ 接遇に関する満足度 75%以上

III 業務実施計画

- 1 高齢者に対する生活相談等に関する業務（専門家相談事業含む）

(1) 目的・ねらい

随時、利用者や家族等からの、生活、福祉、住宅等の様々な相談を受け、適宜、的確な状況把握や援助を行うとともに、専門的対応や緊急対応が必要な場合においても、本会の専門性を活かした連携により、悩みごとや不安の解消に向けて、積極的に支援する。

(2) 実施内容

項目	内容	実施時期	相談対応者
生活相談	日常生活の悩み事、困り事の相談	通年実施	館長／看護師
健康相談 (専門家相談事業)	看護師等による健康相談・健康講話	7月・11月・3月	看護師・鍼灸師・あんまマッサージ師
医師講話 (専門家相談事業)	医師による健康相談・講話	11月	医師
転倒予防相談 (専門家相談事業)	冬道を安全に歩行するための講話及び相談	12月、1月	鍼灸師・あんまマッサージ師・看護師

(3) 専門家相談事業の目標数値

- ・ 実施回数 4回以上/年
- ・ 参加人数 15人以上/回
- ・ 満足度 80%以上

2 健康相談・機能訓練に関する業務（講演・運動等事業）

(1) 目的・ねらい

高齢者自身の健康管理や介護予防への関心はますます高まる傾向にあることから、そのニーズを的確に捉え専門性を活かした取組を実践する。

(2) 実施内容

項目	内容	実施時期	実施回数 (年)
はつらつ健康体操	理学療法士の指導による介護予防体操	月1回 講師指定日	12回
パワーアップ体操	体質改善や痛み解消及び体スッキリ感を目的とした、軽度な運動や脳トレなど	月1回 講師指定日	12回
健康づくり体操	背骨コンディショニング、エアロビクス、ストレッチ、筋トレ、姿勢改善など	月1回 講師指定日	12回
地域医療講話	南徳洲会病院の医師または看護師による医療講話 ※地域住民の参加を可とする	月1回 (11月を除く) 講師指定日	11回
転倒予防・脳トレ体操	転倒予防体操および脳を活性化するための体操の実施。	12月～2月	3回
ノルディックウォーキング講習会	2本のポールを使った全身運動。体づくりだけでなく肩や首のコリの解消も期待できる。 (専門指導員による講習会)	年1回 講師指定日	1回

(3) 目標数値

- ・ 実施回数 30回以上/年
- ・ 参加者数 20人以上/回
- ・ 満足度 80%以上

3 浴室業務

(1) 実施内容

週3回（月・水・金曜日）午後1時から午後4時まで、浴室利用を実施する。（祝日にあたる場合は、火・の木曜日に実施）

(2) 利用促進計画

センターだより等に浴室利用のPRを行う。

(3) 目標数値

利用者数 4,650人／年（前年度目標値：3,360人）

4 教養講座の開講に関する業務

(1) 目的・ねらい

健康増進や教養の向上等に関する多彩な講座を開講し、利用者の生涯学習意欲の増進を図り、常に利用者ニーズを把握しながら、スクラップアンドビルドを原則に、ニーズを反映した講座を開催する。

(2) 実施内容

分類		講座名	実施回数 (月)	定員 (申込制)
健康増進	申込制	フラダンス	3回	(24名)
		代謝アップ体操	3回	(20名)
		いきいき元氣ヨガ	2回	(15名)
		脳・足きたエール	2回	(20名)
		フォークダンス	3回	(20名)
		健美操	2回	(20名)
教養向上	定員制	日本の歴史	2回	20名
		ペン習字	3回	16名
		英会話	2回	10名
		水彩画	2回	10名
	申込制	カラオケ	3回	(24名)
		民謡	3回	(24名)
		詩吟	3回	(24名)
		舞踊	3回	(24名)
		楽しいコーラス	2回	(24名)

(3) 目標数値

- ・ 申込率 定員制講座において、定員に対して70%以上
- ・ 満足度 80%以上

5 レクリエーション・各種行事の開催等に関する業務

(1) 目的・ねらい

利用者の健康増進、生きがいづくり及び豊かな生活の実現を支援するため、卓球や囲碁・将棋など各種活動の場を提供し、相互交流の輪を拡げるとともに、季節感のある四季折々の行事に加え、地域に根ざし開かれたセンターとして、協働行事や地域開放行事、世代間交流行事を展開しながら、地域住民同士の交流や地域住民とセンターとの連携強化を促進する。

(2) 実施内容

実施時期	行事名	内容	定員
5月	映画鑑賞会①	高齢者が楽しめる内容の映画（DVD）を上映する	20名
6月	バルーンアート講習会①	風船を用いて昆虫など色々な造形物を製作する。講師はセンター利用者に依頼。	15名
7月	生物多様性保全の取り組み	札幌市が策定した生物多様性の保全のための基本指針に基づく講習会の実施	10名
8月	交通安全教室 （高齢者の交通事故防止）	札幌市による「出前講座」を活用し、交通事故防止に向けた意識を高める。	15名
	映画鑑賞会②	高齢者が楽しめる内容の映画（DVD）を上映する	20名
	避難訓練	通報・避難誘導等訓練	—
9月	秋季演芸発表会 （カラオケ、民謡、舞踊等）	高齢者保健福祉週間行事として開催する。 （入場制限あり）	—
	ダンスパーティー	・フラダンス ・フォークダンス （入場制限あり）	—
10月	文化祭 （作品展示会）	秋の恒例行事 絵画や書道、木彫、革細工などセンター利用者の作品を展示する。	—

11月	バルーンアート講習会②	前述のとおり	15名
12月	映画鑑賞会③	前述のとおり	20名
1月	学生寄席	北海道大学落語研究会の学生による落語を披露	20名
	ロビーコンサート	清田中学校吹奏楽部による楽器演奏等 (入場制限あり)	—
2月	節分豆まき	喫茶コーナー（ふれあいホール）を利用して、豆まきを行う。豆をまくのは年男・年女のセンター利用者。	20名
	ミニゆきあかり	センター周辺にアイスクャンドル等の設置	—
	修了作品展示会	「ペン習字」「水彩画」の教養講座で1年間学んだ利用者の卒業記念作品をセンター内に展示する。	—
3月	避難訓練	通報・消火避難誘導等訓練	—

(3) 目標数値

- ・ 申込率 定員を定めているものについて、定員の70%以上
- ・ 満足度 80%以上

6 高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務

(1) 目的・ねらい

「施設開放取扱要領」に基づき、センターの空き室を「高齢者の活動支援」を目的に、老人クラブや講座修了の受講生、町内会等が主催する「ふれあい・いきいきサロン」等に積極的に開放し、健康づくり活動や趣味のサークル活動、地域活動等を支援する。

(2) 実施内容

空き室の有効利用として、連合町内会、単位町内会等の地域団体への

開放を積極的に行い、各団体による地域の福祉活動、住民活動の促進を支援する。

7 その他施設の設置目的を達成するために必要な業務

(1) ボランティアの育成及び活動支援

ア 目的・ねらい

清田区社会福祉協議会および清田区地域包括支援センターとの連携のもと、引き続き、ボランティア養成講座を実施し、地区のニーズに合った人材を発掘・育成し、ボランティア活動の振興・普及を支援する。

イ 実施内容

名 称	内 容	実施時期 (予定)
生活応援ボランティア養成講座の開催	地域のちょっとした困りごとに対してお手伝いしてくれるボランティアを養成する。 (買い物支援、ゴミ出し等)	未定
認知症サポーター養成講座の開催	認知症を正しく理解し、自分のできる範囲のボランティア活動として認知症の人やその家族を支援する人材を養成する	未定

(2) 実習生の受入れ

ア 目的・ねらい

福祉系学生や看護学生等の実習を積極的に受入れ、福祉人材の育成に寄与する。

イ 実施内容

	内 容	受入時期
札幌市立大学	老年看護学臨地実習	5月

(3) 福祉職場体験活動の推進

ア 目的・ねらい

福祉・介護の仕事に関心を有する学生に対して、働く意義や責任感を実感し、思いやりや社会に貢献する心を育んでもらうため、センターにおいて、福祉の職場を通しての社会体験や就業体験の機会を提供する。

イ 実施内容

	内 容	受入時期
清田南小学校	清田南小学校福祉職場体験	7月
清田中学校	清田中学校福祉職場体験	11月

(4) 地域との連携

ア 目的・ねらい

地域協働の行事を開催し、地域に根ざしかつ開かれたセンターづくりを推進する。

イ 実施内容

項目	内容	実施時期
盆踊り大会	清田中央児童会館と合同で開催。	8月
ちぎり絵工作会	清田中央児童会館と合同で開催。	8月
ミニ運動会	清田中央児童会館の子供たちを招待しミニ運動会を開催	10月
かるた&百人一首大会	清田中央児童会館の子供たちを招待し新春かるた&百人一首大会を開催する。	1月
清田中央地区福祉のまち推進センターとの共催事業	認知症予防に関連した研修会を合同で開催する。 ※地域住民の参加を可とする	未定

ウ 目標数値

地域との連携行事を年2回以上開催

(5) 一人暮らしの高齢者等の見守り活動の推進

ア 目的・ねらい

関係機関との連携をさらに強化し、一人暮らし高齢者の引きこもり防止や生きがい支援に向けて、センターの教養講座やサークル活動、レクリエーション等各種行事への参加・利用を呼びかけ、他の利用者との交流や趣味活動の機会を持つことで、地域との関わりを保ちながら暮らしていけるよう支援する。

イ 実施内容

名称	内容	実施時期
関係機関との連携促進	一人暮らし高齢者へのセンター利用の呼びかけ依頼	通年実施

(6) 障がい者関係団体との連携

ア 目的・ねらい

障がい者の生活課題を啓発し、理解・支援を広める。

イ 実施内容

当センター利用者の利便性を高めることも目的として、障がい者団体によるパン等の販売を引続き実施する。

(7) 文集等の発行

ア 目的・ねらい

老人福祉センター利用者等による文芸創作活動の発表と文芸を通しての交流の場として、市内10館の老人福祉センター、長生園及び保養センター駒岡の合同による文集「輝き」を発行する。

イ 実施内容

随筆、詩、俳句、短歌、川柳、その他文芸作品（思い出の写真、短編小説、コント等）を利用者から投稿していただく。

ウ 目標数値

年1回の発行

IV 広報活動

当該業務については、札幌市と連携しながら、リーフレット、情報誌の作成・配布、ホームページの更新、その他の必要な施設のPRや情報提供を行う。

1 センターだより、リーフレット（老人福祉センターごあんない、さっぽろの社協）等による周知

※ 毎月、センターだよりを以下の関係団体に配布する。

- ・地元町内会
- ・地元地区センター
- ・清田区社会福祉協議会
- ・清田区第1および第2地域包括支援センター
- ・札幌市社会福祉協議会白石・厚別・清田事業所
- ・清田中央まちづくりセンター
- ・清田区総務企画課広聴係

2 ホームページによる周知

- ・老人福祉センターの利用案内、施設紹介
- ・各種行事、イベントの案内
- ・センターだよりやお知らせの掲載（適宜更新）

3 その他媒体による周知

- ・地域新聞、地域情報誌掲載によるイベントの案内
- ・JCOMによるイベント紹介

V 重点事業の実施計画

平成30年度～令和4年度の運営にあたり、「社会参加の促進」「生きがいづくりの推進」「世代間協調への理解」を最重点テーマとして以下、取り組みます。

1 高齢者の活躍の場の提供

(1) 目的・ねらい

健康増進、生きがい支援を目的としたボランティア活動の場（施設内）

を様々提供する。(昨年度継続)

(2) 実施内容

実施項目	内 容	実施時期
①施設周辺美化活動	センター周辺の清掃（ゴミ拾い）	5月・10月
②花壇づくり	きよた花のまちづくり事業へ参加 （しゃべりばサロン）	8月
③花壇の整備	春）センターの花壇を整備 秋）落ち葉拾い&冬囲い	5月 10月
④施設菜園	センター内敷地を利用した野菜づくり	5月～10月
⑤行事等の講師を依頼	センター利用者に行事等の講師を依頼。	7月・11月

2 喫茶コーナー活用事業

(1) 事業目的

老人福祉センター利用者の交流を促進し、仲間づくりの機会を提供するとともに、高齢者の社会参加促進の事業を実施することを目的とする。

(2) 実施内容及び実施手法

ア ボランティアによるカウンター対応

イ 仲間づくり

老人福祉センターを利用したことがない一人暮らしの高齢者に対して、喫茶コーナー利用を一つのきっかけとして仲間づくりができるよう福祉のまち推進センターと連携しながら、一人暮らしの高齢者へ声かけを行う。

ウ 清田中学校吹奏楽部と協力し、「ミニコンサート（楽器演奏）」などを開催し、地域の方々にも案内することで地域との交流を図る。

VI その他

1 健康意識づくりの啓発

(1) 目的・ねらい

老人福祉センターの測定機器を活用し、気軽に健康測定をしてもらうことで、健康意識の向上により介護予防の促進を図る。

(2) 実施内容

血圧計、体重計、体脂肪計、握力計などの健康測定機器を設置し、定期的に測定することで健康状態を把握し、測定結果に合わせて看護師から健康に関するアドバイスを行うとともに、健康相談につなげる。

2 リモートを活用した事業の検討

(1) 目的・ねらい

リモートで参加できる新しい老人福祉センターの利用形態を研究し、利用者及び地域住民の活動促進を図る。

(2) 実施内容

リモートによる行事、講演、健康相談等について、実施内容、実施方法等を検討し、可能であれば年度内から実施する。

令和4年度札幌市清田老人福祉センター自主事業計画書

札幌市清田老人福祉センターの管理運営を実施するほか、利用者への利便の提供、利用者の社会参加を図ることを目的して、次の事業を行う。

1 自動販売機による販売

(1) 目的

老人福祉センター利用者へ利便性を提供することを目的とする。

(2) 事業内容

札幌市清田老人福祉センター内に自動販売機1台を設置し、各種飲料を販売する。

(3) 販売品目

缶ジュース、缶コーヒーなどのソフトドリンク。

2 喫茶コーナーによるコーヒー販売

(1) 目的

老人福祉センター利用者の交流を促進し、仲間づくりの機会を提供するとともに、高齢者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

(2) 事業内容

ア 高齢者のボランティアによりコーヒーの販売を行う。

イ 平日の午前10時から午後3時以内とする。ただし、行事等を開催する場合は平日に限らず実施し、時間を延長する場合もある。

ウ コーヒー一杯の販売価格は100円(消費税込)とする。なお、原材料等の変動により変更する場合がある。

様式1 令和4年度札幌市清田老人福祉センター収支計画書(総括表)

単位:千円

1 収入

項目	予算額	摘要
指定管理費	42,059	
利用料金収入	930	
その他の収入(指定管理業務)	168	
その他の収入(自主事業)	816	
収入計(A)	43,973	

2 支出

大項目	中項目	小項目	予算額	摘要
指定管理業務	管理費	人件費	1,231	
		物件費	5,422	
		小計	6,653	
	事業費	人件費	19,504	
		物件費	16,117	
		小計	35,621	
指定管理業務計			42,274	
自主事業	管理費	人件費		
		物件費		
		小計	0	
	事業費	人件費		
		物件費	769	
		小計	769	
自主事業計			769	
受託事業	管理費	人件費		
		物件費		
		小計	0	
	事業費	人件費		
		物件費		
		小計	0	
受託事業計			0	
支出計(B)			43,043	

3 収支

項目	金額	摘要
当期利益(A-B)	930	
自主事業による利益還元(C)	0	
法人税等(法人税、住民税及び事業税)(D)	930	
当期純利益(A-B-C-D)	0	

注)

- 1 施設において自主事業として実施した、札幌市その他の機関や団体からの受託事業がある場合には、当該受託事業をその他の自主事業と区分して記載してください。(様式2以下についても同様です。)
- 2 収入の表は、様式2に基づき作成してください。なお、行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 3 支出の表は、様式3に基づき作成してください。
- 4 収支の表の法人税等欄については、予想される税金の額を記載してください。

様式2 令和4年度札幌市清田老人福祉センター収支計画書(総括表)

1.利用料金収入

単位:千円

区分	単位	利用料金 (単価:円)	利用回数	予算額	備考
浴室	回	200	4,650	930	
総計				930	

- 注) 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 2 税込で記載してください。

2.指定管理業務の事業収入、自主事業収入、受託事業収入

清田

単位:千円

項目	事業名(科目)	予算額	摘要
指定管理 業務	受入研修費収入	70	
	その他の収入	98	コピー料収入他
	指定管理業務事業収入計	168	
自主事業	手数料収入	96	自販機手数料
	喫茶事業収入	720	喫茶収入
	自主事業収入計	816	
受託事業			
	受託事業収入計	0	
事業収入計		984	

- 注) 1 項目毎に、事業単位で記載してください。
 2 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 3 税込で記載してください。
 4 自主事業において札幌市その他の機関や団体からの補助金の交付を受ける予定がある場合には、摘要欄に補助金の交付元名、補助事業名、補助率等を簡潔に記載してください。
 5 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載し、摘要欄には委託元名を記載してください。

様式3 令和4年度札幌市清田老人福祉センター収支計画書(総括表)

単位:千円

項目	科目	指定管理業務		自主事業		受託事業	
		管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費
人件費	給料手当	1,231	14,273				
	臨時雇賃金		2,380				
	福利厚生費		89				
	法定福利費		2,762				
	人件費計	1,231	19,504	0	0	0	0
物件費	旅費・交通費		36				
	研修費		15				
	消耗品・備品費		150		36		
	印刷製本費		59				
	光熱水費		2,592				
	燃料費		2,555				
	修繕費		500				
	通信運搬費		245				
	広告宣伝費		0				
	委託費		6,726				
	支払手数料		5				
	保険料		69				
	賃借料・使用料		331				
	租税公課		140				
	諸謝金		2,060		360		
	給食費		0				
	保健衛生費		100				
	被服費		25				
	教養娯楽費		124				
	器具什器費		218		72		
	教育指導費		100				
	車両費		0				
	雑費		67		252		
本部経費	5,422	0					
行政財産の目的外使用料				49			
物件費計	5,422	16,117	0	769	0	0	
支出計	6,653	35,621	0	769	0	0	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 管理費、事業費を区分する際の考え方は次のとおりとします。
 - ・管理費:施設における事業を管理するために経常的に要する費用。管理部門の費用など。
 - ・事業費:施設における事業の目的のために直接要する費用で管理費以外のもの。
- 4 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載してください。
- 5 自主事業、受託事業において事業数が複数の場合、各事業の合計額を記載してください。

様式5 令和4年度札幌市清田老人福祉センター収支計画書(総括表)

清田

単位:千円

1 指定管理業務

科目	予算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費		36	連絡交通費、タクシー代
研修費		15	職員研修参加費
消耗品・備品費		150	事務用消耗品・備品
印刷製本費		59	諸用紙印刷
光熱水費		2,592	電気、水道料
燃料費		2,555	ガス料(暖房・入浴用)
修繕費		500	各所修繕費
通信運搬費		245	電話、郵便料
広告宣伝費		0	
委託費		6,726	各業務委託料、保守料
支払手数料		5	
保険料		69	施設賠償保険等
賃借料・使用料		331	コピー機、券売機等賃借料
租税公課		140	租税公課、印紙等
諸謝金		2,060	講師謝礼金等
給食費		0	
保健衛生費		100	衛生材料等
被服費		25	
教養娯楽費		124	新聞、行事費用等
器具什器費		218	事業用器具類等
教育指導費		100	施設サービスアップ費用等
車両費		0	
雑費		67	給茶器用茶等
本部経費	5,422	0	本部経費
行政財産の目的外 使用料			
計	5,422	16,886	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

2 自主事業

科目	予算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費			
研修費			
消耗品・備品費		36	喫茶用消耗品
印刷製本費			
光熱水費			
燃料費			
修繕費			
通信運搬費			
広告宣伝費			
委託費			
支払手数料			
保険料			
賃借料・使用料			
租税公課			
諸謝金		360	喫茶ボランティア実費弁償
給食費			
保健衛生費			
被服費			
教養娯楽費			
器具什器費		72	喫茶用什器
教育指導費			
車両費			
雑費		252	喫茶用コーヒー等
拠点区分間繰入金 支出			
行政財産の目的外 使用料		49	自販機使用料・加算料
計	0	769	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。